

株式会社 SUMCO は、「人間尊重」の精神に基づき、「安全と健康は全てに優先する」を基本に、安全で健康に働くことができる職場づくりに積極的に取り組んでいます。安全衛生方針として、SUMCO グループ全体で情報を共有化し、積極的なリスクアセスメントの展開により潜在危険を顕在化し、ハード面、ソフト面の事前対策を実施することにより、従業員の安全・健康の促進および災害・事故の防止を図っています。

株式会社 SUMCO 九州事業所は（佐賀県内に 3 工場）、地域特性も考慮し、社員の健康管理のために国の事業に積極的に関わっており、

● 「知って、肝炎プロジェクト」パートナー企業

● がん対策推進企業アクションパートナー企業

として活動を行っています。



#### 1. 肝炎検査およびがん検診の普及・受診しやすい環境整備

肝炎検査では、(1) 雇い入れ時健康診断で希望者に肝炎ウイルス検査を実施（希望者）。（平成 18 年より） (2) 佐賀県職域巡回検診を健康診断に併せて実施。（平成 24 年より）以上の取り組みにより、現在まで佐賀県在住の社員の 98% が肝炎ウイルス検査を受けています。がん検診では、健保やがん検診委託先機関とも協力し、社員へがん検診のアンケート調査を実施し、従業員のがん検診のニーズを調査しながら、受診率向上に努めています。平成 23 年より取り組みを開始し、社員の子宮がん、肺がん、大腸がん、胃がん（ピロリ菌）の健診受診率が 3 年間の取り組みでそれぞれ、167%、140%、140%、133% と上昇しました。

#### 2. 治療と仕事の両立のサポート

肝炎やがんの治療を受けている社員が治療を継続しながら仕事ができるように、必要に応じて専属産業医、産業保健職、職場がサポートしています。

その他、メンタルヘルス対策として平成 14 年よりストレス調査を開始し、社員のストレスの気づきを促し、産業医や産業保健職が保健指導を行っています。平成 15 年よりストレス調査による集団解析を行い、その結果に基づく職場環境改善活動を実施しています。九州

事業所の取り組みは、厚生労働省の労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルにも先進的な取り組み事例として取り上げられています。

社員の健康保持増進のために、運動指導やアルコール支援プログラムを取り入れ、対策を行っています。運動指導は、佐賀大学医学部、福岡大学スポーツ科学部と共同研究を行い、特定保健指導対象者に対して、エアロバイクを使用して乳酸閾値を測定、さらに希望者には生活習慣病に関わる遺伝子検査を行い、先進的な指導法を開発し、より丁寧な指導を行っています。アルコールに関して、肥前精神医療センターが開発した **HAPPY** プログラムを使用し、節酒指導を行っています。特定保健指導対象者に対して、**HAPPY** プログラムを使用した教育の結果、翌年の健康診断ではアルコール摂取量の低下と共に、肝機能、血圧、脂質等が改善し、メタボリック症候群の割合が減少しました。

ステークホルダーとしての社員に対して、健康でいきいきと働ける職場環境を提供できるように努力を続けていきます。

